

告 辞

晴れの卒業式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。

今、皆さんは、将来への期待に胸をふくらませ、決意を新たにしていることと思います。これまでの学校生活で培った学ぶ姿勢、育んだ友情や思いやり、鍛えた心身は、今後の人生の力強い支えとなるに違いありません。

さて、皆さんにとって人生の大きな節目となる卒業式ですが、全国の高校生の中には、3年間を過ごした学舎で晴れの日を迎える人もいれば、傷ついた校舎に思いを馳せながら、仮の校舎で、あるいはふるさとを離れた地で式に臨む人もいます。

昨年3月の東日本大震災は、我が国にかつてないほどの深刻な打撃を与えました。未曾有の複合的大災害の惨状を目の当たりにして、私たちは無力感に打ちひしがれました。その一方で、極限状態を生き抜こうと助け合う被災地の人々や、全国から駆けつけた消防、警察、自衛隊、医療関係者、ボランティアの人々、そして今もそれぞれの場所で支援を行っている人々の姿に、互いに励まし合い苦難に立ち向う人間の強さや優しさを見出しました。とりわけ、自ら被災しながらも避難所などで率先して働く若者たちは実に頼もしく、明日への希望を感じさせてくれました。日本人の不屈の精神に、世界各国からも激励の声や支援の手が数多く寄せられています。これからも続く復興への長く険しい道のりを前にして、私たちは、人と人がつながり支え合うことの尊さを改めて実感しています。

また、7月のサッカー女子ワールドカップドイツ大会において、なでしこジャパンが初優勝の栄冠に輝いたことは、私たちに大きな勇気を与えてくれました。「世界一」になるという強い決意をチーム全員で共有し、各々が持ち味を發揮しながら一丸となって戦い、世界の強豪を打ち破った姿からは、高い目標の実現のために取り組むべきことを明確にしつつ、ひたむきに努力し、決して諦めることなく、自分たちを信じて挑戦し続けることの大切さを教えられました。

これからの時代を担う皆さんは、この先、さまざまな困難があろうとも、希望を持ち、目標の実現に向け、強い意志を持って挑戦し続けてください。これまで授業や学校行事、部活動などを通して身に付けてきた、自ら学び自ら考える力、主体的に判断して行動する力、豊かなコミュニケーション力を生かし、一人の人間として、また社会の一員として、多くの人々と手を携えながら、活力ある社会の創造を目指して未来を切り拓く人材となることを期待します。

皆さんを今日まで温かく見守り、支えてくださった保護者や先生方への感謝の思いを胸に抱き、ふるさと石川に誇りと愛情を持ち、心豊かな人生を歩んでいってください。

皆さんの今後の健康と活躍を祈って、はなむけの言葉といたします。

平成24年3月

石川県教育委員会